TOKUYAMA
トクヤマグループ

グラウトミックス
シリーズ

セメント系無収縮材

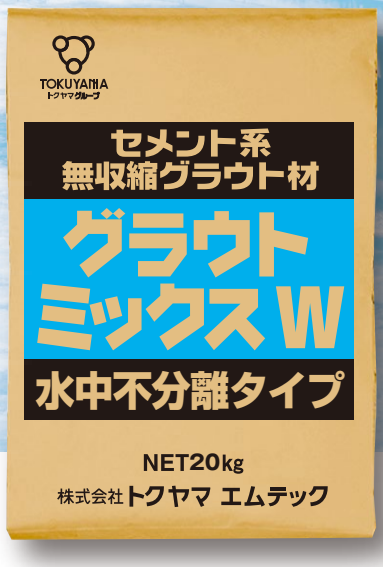
セメント系無収縮グラウト材

グラウトミックスW
[水中不分離タイプ]

グラウトミックスW[水中不分離タイプ]は、セメント系無収縮グラウト材に特殊混和剤をプレミックスした製品ですので、現場での所定水量で混練りできます。優れた水中不分離性を発揮し、水質汚濁の制御をするとともに高い流動性を有しているため、ポンプ圧送および自己充填性に優れています。

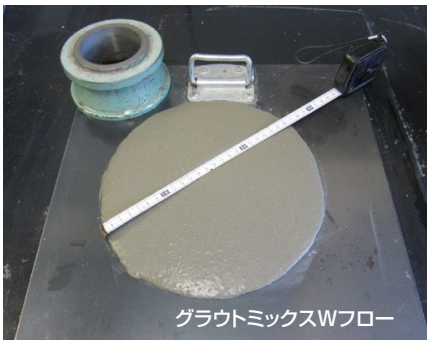
特　長

1	**水中不分離性**	水中不分離性に優れており、海・河川等の水の汚濁が抑制されます。
2	**自己充填性**	高い流動性を保持して自己充填性に優れています。
3	**安定した強度**	水中においても、安定した高い強度を発現します。
4	**プレミックス**	プレミックス品のため、水だけで混練りできます。
5	**ノンブリージング**	ノンブリージングであり、無収縮性を発揮します。
6	**大量打設**	車載式を使用することで大量打設が可能です。混練りの作業が省けます。



グラウトミックスW
流し込み状況

グラウトミックスW　普通のグラウト材


グラウトミックスWフロー

標準配合

1袋あたり

グラウトミックスW	清水	練上量
1袋(20kg)	4.6～5.2kg	約12ℓ

1m³あたり

グラウトミックスW	清水	練上量
84袋(1,680kg)	386～437kg	約1,000ℓ

備考)練混ぜ水量は施工時の気温・施工方法等により調整してください。

物 性

試験温度:20℃

試験項目			試験結果	社内基準値	試験方法
単位容積重量(kg/ℓ)			2.07	1.9～2.1	JIS A 1171
フロー値(mm)		直後	282	200～300	JIS R 5201 (打撃なし)※1
		60分静置後	258	—	
ブリージング率(%)		2hr後	0	0以下	JIS A 1123
圧縮強度 (N/mm²)	3日	水中作製	31.7	—	JIS A 1108※2 (寸法Φ50×100mm)
		気中作製	40.4		
	7日	水中作製	42.1	水中/気中強度比 80%以上	
		気中作製	51.6		
	28日	水中作製	53.7	45N/mm²以上かつ 水中/気中強度比80%以上	
		気中作製	63.5		

※1･･･フローコーン引き上げ5分後に計測した。容器内のモルタルは全てかき落とした。
※2･･･水中作製供試体の作製方法はJSCE-F504に準じた。
上記試験結果は社内試験の測定結果の一例であり、保証値ではありません。

株式会社トクヤマ エムテック

使用方法

1 下地処理

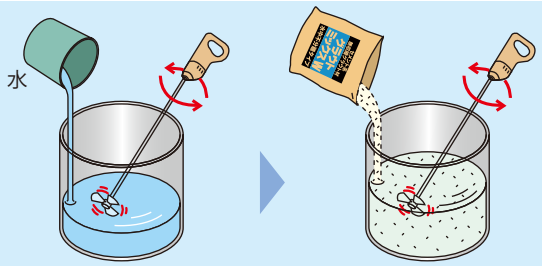
①下地コンクリート打設面に浮きや剥離、ひび割れ、脆弱部があれば、はつり処理を行って、健全部を露出させてください。
②打設面や埋め込みアンカー等に油分や塵埃等があれば除去してください。
③露出鉄筋がある場合、錆を落として防錆処理を行ってください。(リペアペーストを推奨)

2 型枠工

①型枠は、グラウトミックスWの注入または流し込み圧に耐えられるよう強固に組み立ててください。
②注入孔と空気抜き孔は、空気だまりなどの未充填部分ができないように配置してください。
③型枠から漏れが生じないよう、隙間は固練りのセメントやパテ等でふさいでください。

3 練混ぜ

①練混ぜには、グラウトミキサーや高速ハンドミキサー(1,000rpm以上)を使用してください。
※アルミ製の撹拌羽根は、打設後に異常膨張するおそれがあるので使用しないでください。
※練上り温度が10℃～35℃の範囲内に入るように、夏季は冷水を、冬季は温水を使って調整してください。
②練混ぜ用容器(ペール缶など)に清水を計量して、ハンドミキサーを稼働させながらグラウトミックスWを徐々に加え、全量投入後2分間以上(冬季は3分間以上)丁寧に練混ぜてください。



●使用水量(4.6～5.2ℓ／袋)を正しく計量してハンドミキサ、高速グラウトミキサ等で機械練りしてください。

●グラウトミックスWを徐々に投入して、練りダマが残らないように十分練り混ぜてください。

4 注入・流し込み

①注入はポンプによる注入またはバケツ等による流し込み等で行ってください。
※水中打設する際は、なるべく乱流をおこさないように静かに注入してください。
②流し込みは、片側から連続して行い、反対側から流出するまで行ってください。
③流し込み後、露出部分がある場合は、材料の締り具合をみてキープジョン5倍希釈液を噴霧してコテ押えを行ってください。

関連商材

無収縮グラウト材			断面修復材			超速硬モルタル
セメント系 無収縮グラウト材 グラウトミックス	セメント系 無収縮グラウト材[低熱タイプ] グラウトミックスL	車載プラント 供給システム 生グラウト	断面修復用 ポリマーセメントモルタル リペアミックス	セメント系 断面修復材 リペアミックスJ1	断面修復用 プレミックスコンクリート リペアミックスNEXT	超速硬 高靭性モルタル オートモルスーパー

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。

危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害(呼吸器系)。
長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系・腎臓)。

【安全対策】・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。

【保管】・部外者が触れないような措置をし、保管すること。

【廃棄】・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

【応急措置】・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・皮膚に付着した場合:水またはシャワーで洗うこと。
・眼に入った場合:よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。
・飲み込んだ場合:口をすすぐこと。
・ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。

本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。

注意事項

【使用上の注意】・気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工すること。
・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。
・本製品はセメント製品につき湿気厳禁。雨露や直射日光を防ぎ、パレット等を敷き床面から離し、通気のよい場所で保管し、製造後3ヶ月までを目安に使用すること。

【カタログに関する注意事項】・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。

株式会社トクヤマ エムテック
URL http://www.k-tokuyama.co.jp

ISO 9001 JTCCM QSCA RQ 1957 (認証範囲) https://www.jtccm.or.jp/
JAB MS CM015

本社・東日本営業Gr		103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 KDX新日本橋駅前ビル3F TEL 03-6265-1075　FAX 03-6265-1073
中日本営業Gr		573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3 TEL 072-857-2770　FAX 072-857-1125
西日本営業Gr	中国営業所	745-8648 山口県周南市御影町1-1(株)トクヤマ セメント開発グループ2F TEL 0834-62-7201　FAX 0834-62-7202
	九州営業所	812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2 TEL 092-642-9070　FAX 0834-62-7202
首都圏セメント建材開発センター		299-0268 千葉県袖ケ浦市南袖10 TEL 0438-60-8770　FAX 0438-60-8370

工　場 / 枚方工場(大阪)　袖ヶ浦工場(千葉)　九州製造拠点:(株)熊本硅砂鉱業(熊本)

販売店

2023.02.900　第4版